

# 事業評価シート

番号 1040013 1

## 【1.基本情報】

事業名	生活習慣改善プログラム推進～やろまいか！！今日から変える生活習慣～				
担当部名	健康部	担当課名	南市民健康センター		
総合計画政策	健康寿命を延ばします		政策コード	1 - 2 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	平成19年度～	年度	根拠法令 関連計画※	健康増進法	

## 【2.事業概要】

事業の目的	健康寿命の延伸、65歳未満の死亡を減らす、生活の質の向上、生活習慣病者の減少、医療費の削減のため、市民が、糖尿病やメタボリックシンドロームについて理解し、生活習慣を改善することにより、生活習慣病(特に糖尿病)を予防する。また、地域住民と協働で健康づくりについて考え、取り組むことにより、地域住民の主体的な健康づくり活動の活性化を図る。				
事業の内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の健康課題を共有し、地域における生活習慣病予防の取り組みについての話し合い</li> <li>・医師・歯科医師からの講演等</li> <li>・生活習慣病予防のための食事、運動に関する情報提供</li> <li>・地域住民が主体的に取り組む健康づくり自主グループ等のPR</li> </ul>				
事業の対象	何を	市民にわかりやすく生活習慣病に関する知識の普及及び生活習慣改善に繋がるよう食生活及び運動習慣の改善について啓発する。			
	誰に (対象者・対象者数)	市民			
	どのくらい (具体的 数値で)	市内21会場			
平成29年度 (実施内容)	市内21会場で、地域住民と健康課題を共有する地域会議、生活習慣病に関する医師、歯科医師による講演、健康運動指導士による指導、SATシステムによる食事バランスの見直し、市民によるシンポジウムなどを実施				

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	平成27年度決算額		平成28年度決算額		平成29年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	0		0		0	
嘱託職員	0		0		0	
アルバイト	0		0		0	
計(A)	0	0	0	0	0	0

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
		930	793	947
直接事業費の主な内訳		平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
項目	報償費	665	673	551
	旅費	119	75	136
	郵送料	53	25	154
減価償却費【施設管理】※(C)		平成27年度額(千円)	平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)
計(D)=B+C		930	793	947

### (3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
	930	793	947

## 【4.収入】

収入内訳	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
国庫支出金			
県支出金			
市債			
使用料・手数料			
その他			
計(F)	0	0	0

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
	930	793	947

【6.コストバランス】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業受益者	市民	市民	市民
受益者数	1,312	1,525	1,717
受益者負担額(千円)			
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	709	520	552

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	講演会の参加者数	単位	人
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値	1,189	1,312	1,525
実績値	1,312	1,525	1,717

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	講演会をきっかけに健診を受けようと思った人	単位	%
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値	38.1	44.4	44.7
実績値	44.4	44.7	39.6

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	高	①メタボリックシンドローム該当者・予備群や糖尿病などの生活習慣病を予防するきっかけとして必要な事業である。 ②健康増進法第4条に基づき、市として積極的に市民の健康増進のための事業を行う必要がある。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	①生活習慣病の予防、生活習慣改善の啓発について、市民に周知する手段として、10年以上実施しているが、65歳以上の参加者の割合が高い。目的を達成するための効果的な方法が他にないか、検討する余地はある。 ②地域住民と健康課題を共有し、健康づくり活動を協働で実施し、地域で主体的に取り組む「健康づくり自主グループ」を支援できるのは市が担うものである。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	この事業をきっかけに住民が主体的に生活習慣の改善に向けた取り組みを始めた地域もあり、事業に一定の効果がみられる。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	高	これまで、市内のほぼ全域で事業を実施しており、公平性は保たれている。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む)・廃止)	現状維持	啓発内容や方法などについての検討・改善が必要であるが、市民の健康増進を図るために必要な事業であり、事業を継続する。

# 事業評価シート

番号 1040013 2

## 【1.基本情報】

事業名	元気健康シンポジウム				
担当部名	健康部	担当課名	南市民健康センター		
総合計画政策	健康増進		政策コード	1 - 4 - 0 - 0	
実施方法	直営	補助の種類※	実施主体	岐阜市	
実施期間	平成17年度～	年度	根拠法令 関連計画※	介護保険法 岐阜市高齢者福祉計画	

## 【2.事業概要】

事業の目的	地域での介護予防に向けた健康づくり活動の活性化と個人と地域の健康に対する意識の高揚を図る。				
事業の内容	地域で活動するシンポジストによる健康づくり活動についての事例発表、有識者による介護予防に関する講演会				
事業の対象	何を	元気健康シンポジウム			
	誰に (対象者・対象者数)	高齢者を中心とした市民			
	どのくらい (具体的 数値で)	年1回			
平成29年度 (実施内容)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域住民による健康シンポジウム(いきいきサロン、ウォーキンググループ、いきいき筋トレサポーター、食生活改善推進協議会)</li> <li>・健康講話</li> </ul>				

## 【3.支出(行政コスト)】

### (1)人にかかるコスト

	平成27年度決算額		平成28年度決算額		平成29年度決算額	
	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)	人件費(千円)	人日(人)
正規職員	23,305	790	24,016	790	24,016	790
嘱託職員	0	0	0	0	0	0
アルバイト	0	0	0	0	0	0
<b>計(A)</b>	<b>23,305</b>	<b>790</b>	<b>24,016</b>	<b>790</b>	<b>24,016</b>	<b>790</b>

### (2)物にかかるコスト

直接経費【直接事業費】(B)		平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
		606	601	827
直接事業費の主な内訳		平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
項目	消耗品費	174	174	328
	印刷製本費	149	149	168
	報償費	130	180	180
減価償却費【施設管理】※(C)		平成27年度額(千円)	平成28年度額(千円)	平成29年度額(千円)
<b>計(D)=B+C</b>		<b>606</b>	<b>601</b>	<b>827</b>

### (3)総コスト

総事業費(E) =A+D	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
	23,911	24,617	24,843

## 【4.収入】

収入内訳	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
国庫支出金	151	111	206
県支出金	75	69	103
市債			
使用料・手数料			
その他	302	329	413
<b>計(F)</b>	<b>528</b>	<b>509</b>	<b>722</b>

## 【5.収支】

市負担額一般財源(E-F)	平成27年度決算額(千円)	平成28年度決算額(千円)	平成29年度決算額(千円)
	23,383	24,108	24,121

【6.コストバランス】

	平成27年度	平成28年度	平成29年度
事業受益者	市民	市民	市民
受益者数	400	350	355
受益者負担額(千円)	0	0	0
受益者負担率(%)	0.0%	0.0%	0.0%
受益者1人当たりのコスト (円、一般財源ベース)	58,458	68,880	67,946

【7.指標】

アウトプット評価 (資源投入(インプット)により産出した活動(サービス))			
活動指標名	参加者数	単位	人
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値	500	500	500
実績値	400	350	355

アウトカム評価 (アウトプットによりもたらされた成果)			
成果指標名	地域の健康自主グループ数	単位	グループ
	平成27年度	平成28年度	平成29年度
目標値	380	380	380
実績値	348	376	378

【8.評価】

評価項目	評価	理由(可能な限り定量的又は定性的な指標を用いて説明)
必要性 (①目的が市民・社会のニーズに合っているか) (②事業を市が担う必要があるか(民間・国・県)) ※【1】【2】から	中	高齢者が増加する中、高齢者が住み慣れた地域で限り生涯にわたり、心身ともに健康で生き生きと暮らしていくことができるよう、介護予防に取り組む必要がある。  介護予防に向けた健康づくりに取り組む市民が活動状況について事例を発表することで、活動が活性化し、他の活動への波及効果が期待でき、地域ぐるみでの健康づくりにつながる。
効率性 (①費用対効果) (②他に効率的な方法がないか (広域・民間活用・市民協働)) ※【1】【3】【4】【5】【6】から	中	参加者は、有識者が提供する最新の健康情報を得ることができ、市民の介護予防、健康づくりに活かすことができるが、会場に収容出来る人員に限られる。  シンポジウムでは、地域で活動する健康自主グループが活動状況を発表する場であり、健康自主グループを支援できるのは、市だけである。
有効性 (期待した効果が得られたか 又は計画した将来に効果が得られる見込か) ※【2】【7】から	中	シンポジウムでの活動発表をきっかけに、活動の活性化につながった地域もあり、事業に一定の効果がみられる。
公平性 (受益者及び受益者負担は適正か) ※【2】【6】【7】から	中	市内全域を対象とした事業であり、公平性は保たれている。
【総合評価】 (現状維持・改善(統合・縮小含む。)・廃止)	現状維持	シンポジウムをきっかけに、健康自主グループの活動が活性化し、地域ぐるみでの健康づくりにつながることから事業を継続する。